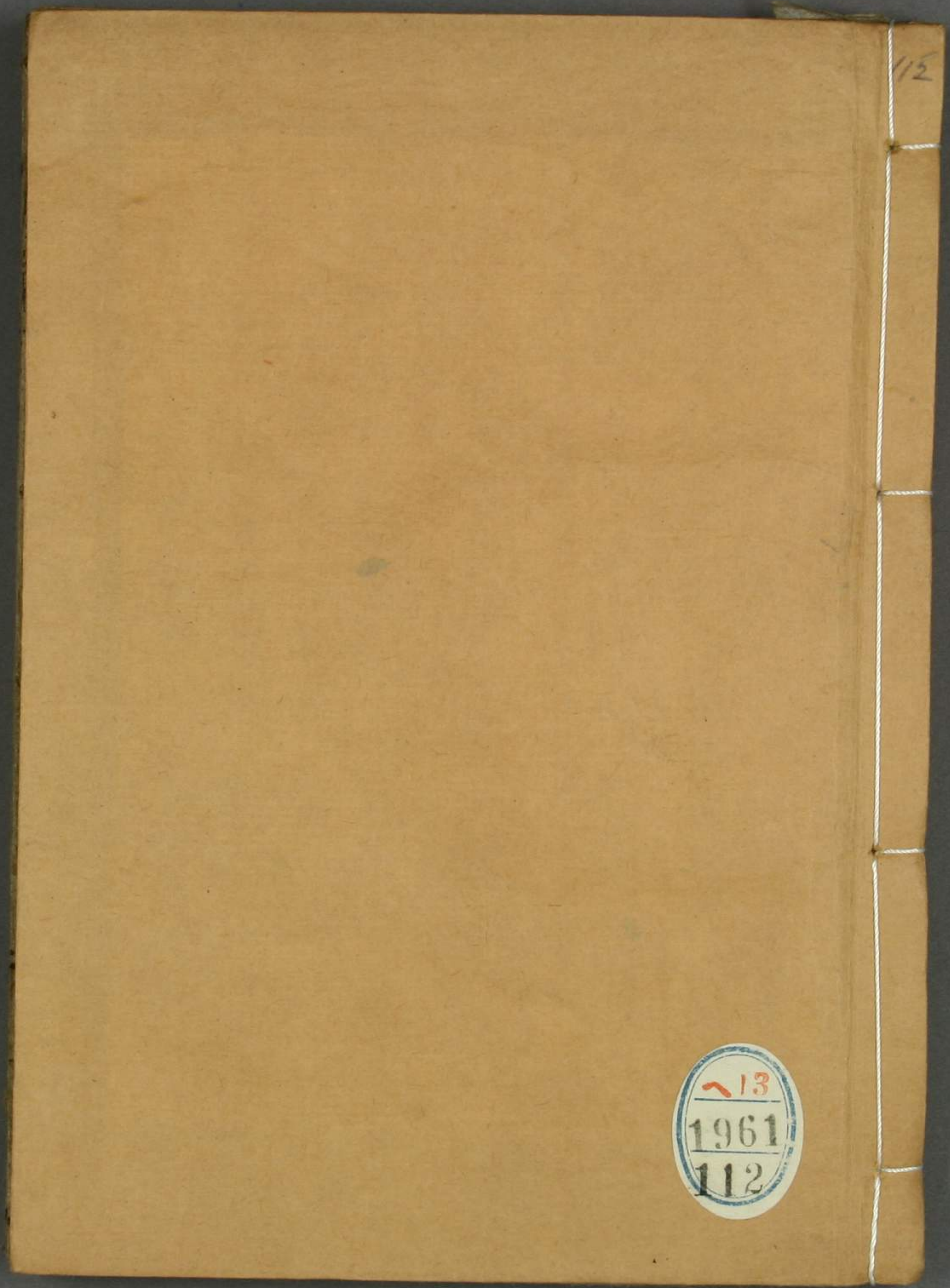


KODAK Gray Scale



13
1961
112

112



丁巳新鑄史

彦山權現拵助劍卷之一

江都通油町葛重梓行



112 全册合



1961
112

此後彦彦後山守

丁巳正月

彦山持現世助剣



彦山守



不悔が不弁の情澤と世貞くも思へど
 毎晩くいま臨下くう後信収至極はまの報今日
 深ぐま子くく立山控現の所刺生微塵はのりく
 山の園村も未そ花咲八重垣流のの毛谷村り
 のめが孝乃く神の若中ゆらりう競星そ出世の
 去倭入配偶思女ととり組ぐ糸ぐひもあふ
 款討の母りまぐく甚あぐくこ所りま子り終度
 ゆりくくは夢やされませ所く六披漢任ふたぐ
 若うのふ

彦山一

春風を感ず
 京極内通
 春風を感ず
 京極内通
 春風を感ず
 京極内通



春風を感ず
 京極内通
 春風を感ず
 京極内通
 春風を感ず
 京極内通



春風を感ず
 京極内通
 春風を感ず
 京極内通
 春風を感ず
 京極内通

あつちの味毒ハさき
さあ州海らうが其
炭毒とさうらんせ
そらりさくさく
あつちの味毒ハさき
さあ州海らうが其
炭毒とさうらんせ
そらりさくさく



あつちの味毒ハさき
さあ州海らうが其
炭毒とさうらんせ
そらりさくさく

あつちの味毒ハさき
さあ州海らうが其
炭毒とさうらんせ
そらりさくさく



あつちの味毒ハさき
さあ州海らうが其
炭毒とさうらんせ
そらりさくさく

彦山の景八
 きぬ川より
 こめくれをば
 中きそきつり
 いさこのしり
 りのりりこの
 うい味も
 志留ひよ
 ながひの
 おひれと
 味無めん
 びくまひ
 すくまひ
 せのめ
 あくそせめ
 せのめ
 せのめ
 とりのめ
 のめ
 色と
 志留
 志留
 志留



おくそせめ
 せのめ
 とりのめ
 のめ
 色と
 志留
 志留
 志留

彦山一

いん
 うら
 味も
 志留
 志留
 志留



おくそせめ
 せのめ
 とりのめ
 のめ
 色と
 志留
 志留
 志留

丁巳新鐫史

彦山權現ひこやまごんげん拵言助ついでごんごすけ劍卷之二

江都通油町 萬重梓行



とつりものきりたん
 こころ多きおれしじま
 けいけいりしきおれが
 考あへつるまはせも
 そのけいけいしつろ
 おれりしきおれし
 七十七のちりきりたん
 あれへしちりたん
 おれりしきおれし
 おれりしきおれし
 おれりしきおれし

鶺鴒飛出
 月曉
 蟬噪林屋
 煉



るさておれしきのさし味しつろ





此のうらもこしあ
 新にせめるまゆら
 糸のうらまき方
 山原すこのの
 志んすなれい
 これすうり
 ずぎのひび
 わらわれは
 けうとらち
 みるひ山
 のあまを
 ちてその目
 とおらんる
 さて又系ね
 うくとも
 於のうら
 せんまき
 さぬ九列
 い山口まき
 むの原まき
 なる原まき
 りりまき
 後まき
 せまき
 ちまき
 ありまき
 それまき
 せまき



ちまき
 あまき
 ちまき

三人うら
 ちまきのまき
 かん平とまき
 ちまき

此のうらもこしあ
 新にせめるまゆら
 糸のうらまき方
 山原すこのの
 志んすなれい
 これすうり
 ずぎのひび
 わらわれは
 けうとらち
 みるひ山
 のあまを
 ちてその目
 とおらんる
 さて又系ね
 うくとも
 於のうら
 せんまき
 さぬ九列
 い山口まき
 むの原まき
 なる原まき
 りりまき
 後まき
 せまき
 ちまき
 ありまき
 それまき
 せまき



ちまき
 あまき
 ちまき

三人うら
 ちまきのまき
 かん平とまき
 ちまき

丁巳新鑄稗史

彦山權現誓助劍卷之三

江都通油町葛重梓行



一、時、秋の口をさし
 ちりりんハハハハ
 こころのしをよ
 りふふハハハハ
 一、時、秋の口をさし
 ちりりんハハハハ
 こころのしをよ
 りふふハハハハ
 一、時、秋の口をさし
 ちりりんハハハハ
 こころのしをよ
 りふふハハハハ



かく
 りん
 びの
 りん

一、時、秋の口をさし
 ちりりんハハハハ
 こころのしをよ
 りふふハハハハ
 一、時、秋の口をさし
 ちりりんハハハハ
 こころのしをよ
 りふふハハハハ
 一、時、秋の口をさし
 ちりりんハハハハ
 こころのしをよ
 りふふハハハハ



かく
 りん
 びの
 りん

かく
 りん
 びの
 りん

丁巳新鐫史

彦山權現誓助劍卷之四

江都通油町蔦重梓行





一ノノ
 二ノノ
 三ノノ
 四ノノ
 五ノノ
 六ノノ
 七ノノ
 八ノノ
 九ノノ
 十ノノ
 十一ノノ
 十二ノノ
 十三ノノ
 十四ノノ
 十五ノノ
 十六ノノ
 十七ノノ
 十八ノノ
 十九ノノ
 二十ノノ
 二十一ノノ
 二十二ノノ
 二十三ノノ
 二十四ノノ
 二十五ノノ
 二十六ノノ
 二十七ノノ
 二十八ノノ
 二十九ノノ
 三十ノノ

一ノノ
 二ノノ
 三ノノ
 四ノノ
 五ノノ
 六ノノ
 七ノノ
 八ノノ
 九ノノ
 十ノノ
 十一ノノ
 十二ノノ
 十三ノノ
 十四ノノ
 十五ノノ
 十六ノノ
 十七ノノ
 十八ノノ
 十九ノノ
 二十ノノ
 二十一ノノ
 二十二ノノ
 二十三ノノ
 二十四ノノ
 二十五ノノ
 二十六ノノ
 二十七ノノ
 二十八ノノ
 二十九ノノ
 三十ノノ



一ノノ
 二ノノ
 三ノノ
 四ノノ
 五ノノ
 六ノノ
 七ノノ
 八ノノ
 九ノノ
 十ノノ
 十一ノノ
 十二ノノ
 十三ノノ
 十四ノノ
 十五ノノ
 十六ノノ
 十七ノノ
 十八ノノ
 十九ノノ
 二十ノノ
 二十一ノノ
 二十二ノノ
 二十三ノノ
 二十四ノノ
 二十五ノノ
 二十六ノノ
 二十七ノノ
 二十八ノノ
 二十九ノノ
 三十ノノ



Handwritten Japanese text in the upper right corner of the illustration, arranged in several vertical columns.

Handwritten Japanese text on the right side of the illustration, below the main scene.

Handwritten Japanese text in the lower left corner of the illustration, below the kneeling figure.

史稗鐫新巳丁

彦山權現ひこやま けんげん
誓助ちかひのすけ
劍卷之五けんまき

江都通油町 蔦重梓行



2



附書格がわぬひと
 ろひきりしうの
 龍ののひひも
 多きとまき
 のめくまぐ
 おぬがまんでい
 るとけい
 ろれがありの
 いりこのま
 常てさおま
 常てさおま
 とくせな
 おやのめ
 けい
 これもか
 けい
 まりめい



常てさおま
 常てさおま
 とくせな
 おやのめ
 けい

二人の娘が
 九羽を
 六羽
 常てさおま
 とくせな
 おやのめ
 けい
 これもか
 けい
 まりめい



おも
 まり
 まり

